

トラック1(メインパート:ふたなりオナニーショー)

こんなところに呼び出してごめんなさい。

2人きりで話^{はな}したかったの。

ねえ、あなた…ふたなりでしょ？

体育の時間にブルマの股間が妙に膨らんだの、見えちゃった。

多分、気づいたのは私だけだけど、

あれってちんこ生えてて、

しかも勃起してたってことでしょう？

(少し低い声で)

私達の体操着姿で興奮したの？
この変態。

(→ここまで)

ここ、女子校よ？

ちんこぶら下げてる人間が、

通^{かよ}っていいところじゃないの。

…何、急に財布取り出して。

ああ、口止め料？

そうね、あなたから強^{ゆす}請^すってもいいけど、

別にお金には困^こってないし、

代わりに見せてくれないかしら。

ふたなりのオナニー。

ちんこしごいて、精液ぶちまけるとこ見せてくれたら、
黙^もっててあげる。

(少しいらついた感じで)

…何ためらってるの？

あなたが明日も学校に来れるかは、私次第なのよ。
10秒以内に上も下も脱いで、素っ裸になりなさい。

(→ここまで)

じゅーう、きゅーう、はーち、なーな、ろーく、
ごーお、よーん、きーん、にーい、いーち、ぜろ。

(ばかにする感じで)

はい、よくできました。

(→ここまで)

つて、ちんこ小さいままじゃない。

体育のときはギンギンだったくせに。

まったく、世話が焼けるわね。

SE: 靴下を脱ぐ音

はい、私の靴下あげるから、

嗅ぐなりしゃぶるなりして、さっさと勃起させなさい。
体育の後だから、汗が染み込んでる絶品よ。

(ねっとり)

同級生が汗を流す姿で興奮する変態には、
蒸れた靴下で十分でしょう？

(→ここまで)

ほら、靴下顔に押し当てて、ちんこ握って、

(ばかにする感じで)

クンカクンカ、シコシコ、

クンカクンカ、シコシコ。

(→ここまで)

よく嗅いだら、汗のむわっとした匂いの奥に、
女の子らしい甘い匂いを感じるかしら。
女のフェロモン、たっぷり味わいなさい。

(ドン引きして)

うわあ…本当に勃^たってきてる。

下着ならまだ分かるけど、靴下って…。

(→ここまで)

ふたなりって、みんなこうなの？

それとも、あなたが特別変態なだけ？

クラスメートに見られながら、壊れたおもちゃみたいに、
ちんこをシコシコシコシコ…。

皮が上下して、亀頭が見え隠れしてるわ。
面白いわね。

だんだん我慢汁も漏れだしてきてるし、
すぐ発情しちゃうのね。

明日からは、

オムツ履いて学校来た方がいいんじゃないかしら。

カウパーで下着、びしょびしょになっちゃうわよ？

そのまま、根本から先端までしごき続けてて。

ちよつといいこと、思いついちゃった。

床に寝て、鼻の上に靴下を載せなさい。

そうすれば、手が片方空くでしょ？

ちんこシコリながら、反対の手でクリトリスを弄るの。

ちんこの無い私には分かんないけど、

快感が2倍になって、きつとヤバイわよ。

(きよとんとする)

…え？ クリオナしたことないの？

(→ここまで)

(呆れたように)

はあ…、ふたなりって、ちんこに頭支配されちゃってるのね。
いいわ、指示してあげる。

(→ここまで)

まずは指を咥えて、フェラするみたいにしゃぶりなさい。
じゅぶじゅぶ、じゅるじゅるってね。

たっぷり唾液がまとわりついたら、

勃起したクリトリスにそつと触れる。

そして、撫でるように指を動かして刺激するの。

円を描くように、くりくり…くりくり…ってね。

焦っちゃダメよ。

快感は、じんわりと滲み出してくるの。

ちゃんとちんこはシコシコ続けてるわね、偉いわ。

でも、そろそろ飽きてきたし、
ちよūdいから、そちも指示してあげる。
しぐの、少し速くしなさい。

(言い聞かせるように、ゆっくりと)
でも…イくのは、禁止よ。
(→→→まで)

これからあなたには、何度も寸止めしてもらうわ。
頭の中が全部ピンク色になって、
イきたい、イきたい、としか考えられなくなったら、
ちんことクリ、同時にイかせてあげる。
強烈な快感でだらしく悶える姿でも見ないと、
こんな変態と同じ空気を吸った苛立ち、治まらないもの。
ちよūdいい場所に跳び箱もあるから、
ここに座ってあなたの顔、踏みつけてあげる。

(楽しそうに)
それ、ぐりぐりぎゅー♪
ふみふみ、ふみふみ♪
(→→→まで)

靴下ごと踏みつけられて、フェロモン倍増でしょう？
クリトリス撫で撫でするのも、もう慣れたかしら。

次は、摘^{つま}んでみましょうか。

優しく摘^{つま}んで、ローターみたいにブルブル震わせるの。
快感が強くなって、じんじん痺れてくるわよ。
ちんこしぐのも、さらに加速。
擦り切れそうなくらい、勢いよくシロシロしなさい。
くちゅくちゅ…ぐちゅぐちゅ…って、

我慢汁のいやらしい音が、私によく聞こえるようにね。

(可笑しそうに)

ふふ…くちゅくちゅ、大きくなったわね。

どれだけカウパー漏らしてるのよ。

ふたなりは金玉大きくて性欲旺盛、

つてのは知ってたけど、まさかこれほどとはね。

(→→→まで)

ねえ、どれくらいの頻度でオナニーしてるの？

(少し低い声で、問い詰めるように)

毎日1回？ 嘘つかないでくれるかしら。

そんな少ないわけないでしょ、変態のくせに。

(→→→まで)

そう、1日3回もしてるのね。

今日は？ 今日はまだしてないの？

じゃあ、この場で3回分の精液、

一気に出してもらうわね。

強烈な快感が脳に焼き付いて、

普通のオナニーじゃ満足できなくなるわ。

ほら、クリへの刺激も強めるわよ。

指先に力を入れて、ぐりぐり押しなさい。

押しつぶしながら、指で激しく擦るの。

一気に快感が膨らんで、何かがこみ上げてくるでしょう？

それが、クリイキの前兆よ。

でも、イく許可はまだまだ出さないわ。

興奮しすぎたなら、深呼吸しなさい。

吸って…、吐いて…。

吸って…、吐いて…。

濃ゆい足の匂いを吸い込んで、落ち着こうね…。

…ちよつと、クリ弄りを止めていいとは言っていないわよ。

(艶っぽい声で、少し早口)

気持ちよすぎてじつとしていられない。

指が触れているだけで感じすぎてしまう。

(→→→まで)

…そんな状況になっても、
あなたはクリを弄り続けたいといけないの。
勝手に手を離したり、イったりしたら、
すぐにあなたのこと、

メッセンジャーアプリで言いふらすわ。
ちんこも追い詰めてみようかしら。

カリ首を集中的にシコシコしなさい。
段差のところ、小刻みに刺激すると、
射精感が高まるんでしょう？

足裏に当たる息、荒くなってる。

我慢汗の量も増えてるし…。

分かりやすいわねえ…けどものみたい。

裏筋も指でなぞって、しっかり刺激するのよ。
手を抜くことは許さないから。

私を楽しませるために、無茶苦茶な快感に溺れなさい。
ほんと、みつともない姿…。

ねえ、なんでわざわざ女子校に来たの？

隠し通せると、本気で思ってたの？

それともひよつとして、こんな展開を夢想してた？

(低い声で、見下したように)

だったらあなた、相当のマゾね。

変態でDMのふたなりとか、終わってるわ。

(→←まで)

ねえ、ゲームしましょう。

マゾのあなたにピッタリのゲームよ。

数字を数え下ろすから、数が小さくなるにつれて、
いく準備するの。

ゼロって言っただけでいつちゃダメだけど、
ゼロって言ったらすぐに絶頂する。

ルールはこれだけ。

簡単でしょう？

もし失敗したらどうなるかは…言うまでもないわね。
早速始めるわよ。

10…9…8…。

そうそう、まだ8だもの。

ゆるゆる刺激して、

焦れった〜い快感を楽しむといいわ。

それとも、さっきの強烈な快感に慣れちゃって、

物足りないかしら？

ペースはあなたの自由だけど、そうね、

恥知らずで淫らな姿を見せてくれたら嬉しいわ。

7…6…5…。

ふふ…まだ半分よ。

そんなに激しくしちゃって、大丈夫？

カウパーだけじゃなくて、おまんこからも、

愛液がいつぱいところどころ流れ出てるし。

クリもぐいぐい強く押しちゃって…。

もうクリオナ中毒になったのかしら。

ほんとエロには貪欲ね、この変態。

4…3…2…。

ほら、身体の奥から快感がせり上がってくるでしょう？

そのままクリを弄り続けてたら、

快感の波に飲み込まれるわ。

ちんこも尿道に精液が集まってきて、

今にも噴き出しそう。

クリとちんこで同時にイったら、想像を絶するくらい、

気持ちいいでしょうね。

1…。

でもね…、

私はまだまだ、満足してないの。

だ〜か〜ら〜…、

ストップ♪

手を添えたまま、動きを止めなさい♪

うふ、うふふっ。

(からかうように)

クリとちんこ、じんじんむずむずしちゃう？

(→→→まで)

あと少し刺激すれば、とくても気持ちよくなれたのに、私に取り上げられちゃった。

足どけてあげるから、

どんな情けない顔してるのか、見せない。

(呆れたように)

うっわあ…、

口を半開きにして、目に涙を浮かべて…。

(→→→まで)

(冷たい声で)

泣いたって許さないわよ。

っていうか、涙で靴下が濡れたじゃない。

はあ、気持ち悪い…。

(→→→まで)

こっちも脱いじやって…つと。

SE:靴下を脱ぐ音

そのだらしないお口に、詰め込んであげる。
しっかり啜えるのよ。

私のエクス、ちゅーちゅー吸い出さないな、変態。
さ、またカウントダウンするわよ。

準備はいいかしら。

今度はイかせてもらえろといいわね。

10…9…。

ふふ…ずいぶん控えめなオナニーじゃない。

さつきよりも動きが遅いし、

絶頂寸前で取り上げられるの、そんなに辛かったの？
ちんこついてる分、苦しみも2倍かしら。

8…7…。

でもそんなぬるいオナニーされると、退屈ね。
どんな風に弄ろうと自由だけで、
あまり私を飽きさせないほうがいいわよ。

(少し早口で)

6、5、4、3、2、1。

(→ここまで)

…つて一気に数え下ろすかもしれないし♪
ほら、もう1まで来ちゃった♪

次私がゼロって言ったら、絶頂しないといけないけど、
ちゃんと準備できてる？

あはっ、慌ててペース上げてる。

ちんこはカリ首をシコシコ、

クリはぎゅつと摘つまんでグリグリ。

なりふり構わず、快感に溺れようとしてるわね。

(意地悪な感じで)

じゃあその快感…、引つ込めてもらうわ。

(→ここまで)

ストップ。

手は離さずに、動きだけ止めなさい。

ふふ、もどかしいでしょう？

特別サービスとして、あなたのおっぱい、
足でこね回してあげるわ。

(見下す感じで)

バカみたいに大きな胸しちやって…。

ちゃんと脳に栄養行ってるのかしら。

(→ここまで)

ほら、生足でぐりぐり、ぐにゅぐにゅ…。

変態のあなたは、足で揉まれても感じるわよね。

乳輪をなぞるように、ぐるぐる、すりすり…。

ぐるぐる、すりすり…。

乳首もむずむずしてきたかしら？

ピーンって勃^たってきてるわね。

もつともどかしくなりなさい。

ぐるぐる、すりすり…。

ぐるぐる、すりすり…。

(胸の大きさを妬んでいるように)
まったく…、

どうせ下からしかミルク出す機会ないのに、
なんでこんなに大きいのよ。

ふたなりの淫乱さがよく分かるわ。

(→ここまで)

じゃ、最後のカウントダウン。

今度はゼロって言ってあげるから、
キツチリ限界まで追い込みなさい。

10。

靴下を噛みしめながら、

力強くちんこをしごくの。

息を荒くすれば、

靴下の甘酸っぱい匂いに、より犯される。

興奮が強くなつて、もつと気持ちよくなる。

私の足汗エキスもたくさん染み出すわ。

ピリピリしよっぱくて、美味しいわね。

9。

クリトリスはくにゅくにゅ、くにゅくにゅ。

身体の内側から湧き上がる快感を、

どんどん強くしていきなさい。

…さすがはドスケベふたなりね。

ちんこだけじゃなくて、

クリトリスもそんなに大きくなるなんて。

性欲に支配されるのも無理ないわね。

8。

乳首もピンビンになってるじゃない。

弄ってほしいってこと？

こんなふうに、足指で…、

ピンッ…ピンッ…って弾いたら、

快感の電流がゾクゾク走っちゃうでしょう？

ほら…ピンッ…ピンッ…、

ピンッ…ピンッ…。

快樂が胸から全身に広がっていくわね。

7。

反対の足はあなたの顔を、ぐりぐり、ぎゅー。

顔も胸も踏まれて、足拭きマットみたいね。

踏み心地は悪くないわよ。

(ねっとり)

みんなに変態ふたなりだってバレても、

足拭きマットとしてなら、

そばに置いてくれるんじゃないかしら。

(→ここまで)

クラスみんなの足の汚れや匂い、

つけられちゃうわね。

それが嫌なら、もっと情けない姿見せて、

私を楽しませなさい。

6。

ねえ、竿だけじゃなくて、亀頭も弄りなさいよ。

オスクリトリス、触らないともったいないじゃない。

だから垂れ流してるカウパーを、

亀頭全体に塗り広げて、親指で先っぽを、

(やや遅めに)

すりすりすりすり、すりすりすりすり。

すりすりすりすり、すりすりすりすり。

(→ここまで)

くすぐったくても、すりすりし続けるの。
往復させてもいいし、円を描くのもいいわね。
ムズムズ感を高めなさい。

(やや遅めに)

すりすりすりすり、すりすりすりすり。
すりすりすりすり、すりすりすりすり。

(→ここまで)

5。

クリトリスも、ずいぶん勃起してるわね。
くにゅくにゅし続けてれば、

いくらでも快感は増えていくわよ。

もちろん、イキたいっていう、欲求も…。

逆らっちゃダメよ？

イキたい、イキたいっていう気持ちで、

いっぱいになりなさい。

でも…、

(少し早口で)

4、3、2。

(→ここまで)

…ふふ、油断してた？

急に数え下ろされても対応できるよう、
快楽に浸りつつも、気を抜いちゃダメよ。

ま、今のはちよつと意地悪だったし…。

(とびきり意地悪に)

もう1回、4から数えなおしてあげるわ。

(→ここまで)

4。

それにしても、美味しそうに靴下もぐもぐしちやつて…。

私なら、体育があった日の靴下なんて、

絶対口に入れたくないけれど、

変態にはたまらないのかしら。

走り回って蒸れ蒸れになった、
汗ぐっしよりの靴下の味と匂い。
是非とも感想を聞きたいわね。

3。

ほら、3まで来ちゃったわ。

そろそろ射精を意識しないといけないわね。
カリ首に指をひっかけて、

(やや速めに)

シコシコシコシコ、シコシコシコシコ。
シコシコシコシコ、シコシコシコシコ。

(→→→まで)

射精感を膨らませなさい。

尿道を精液が上ってくるのを、感じるのよ。

(やや速めに)

シコシコシコシコ、シコシコシコシコ。
シコシコシコシコ、シコシコシコシコ。

(→→→まで)

2。

クリ弄りも、上手くなったじゃない。

さすが変態、オナニーの才能だけはあるわね。

くにゅくにゅも強くして、クリイキの準備もしなさい。

快感の波に抗わず、溺れるの。

1。

お待ちかね、最後のカウントよ。

もう我慢しなくていいわ。

押し寄せてくる快感を、受け入れなさい。

ちんこもクリも、思う存分弄るといいわ。

(速めに)

シロシロシロシロ、シロシロシロシロ。

くりくりくにゅくにゅ、くりくりくにゅくにゅ。
シロシロシロシロ、シロシロシロシロ。

くりくりくにゅくにゅ、くりくりくにゅくにゅ。

(→→→まで)

さあ、いきなさい、イけ、イけ、イけ！
ゼロ！

SE:射精音

(心底可笑しそうに)

ぶっ、ぶっ、あは、あははっ！

何それ、壊れた噴水？

白い精液高く噴き上げて、潮も撒き散らして…、
全身をのけ反らせて…あはっ、あははっ…。

もう、笑い死にそう、あははっ！

(→→→まで)

ふう、やっと収まったみたいね。

靴下吐き出して、放心しちゃってる。

うわ、床がぐつちよぐちよ…。

ちゃんと綺麗にしときなさいよ。

あなたの舌で、ね。

掃除道具使ったら、証拠が残るでしょう？

(←「カウパーも精液も愛液も潮も」は区切らず一息で)

カウパーも精液も愛液も潮も、

全部、舐めとりなさい。

そうよ、全部お口に入れて、ごっくんしないとね。

私は帰るけど、手を抜いちゃダメよ？

それと、明日から毎日放課後ここに来なさい。

あなたみたいな性欲お化け、

目を離すと何しかするか分からないし。

私があなたの性欲、処理してあげるわ。

あなたは気持ちよくなれるし、
私は悶えるあなたを見て笑える。
ウィンウィンの関係よ。
じゃ、また明日ね。
バイバイ。